

令和元年度 沖縄県障害者虐待防止・権利擁護研修②



11月27日(水)沖縄県総合福祉センターにて、沖縄県手をつなぐ育成会を主管(沖縄県の事業委託)とする「令和元年度沖縄県障害者虐待防止・権利擁護研修」の2回目を福祉従事者約100名を対象として開催しました。

この研修は、国が障害者虐待防止法の円滑な施行を図るため、障害者虐待への理解を促進し、障がい者虐待の防止、権利擁護を図る為、障害者福祉施設や市町村職員、さらには現場で直接ふれあう従事者に対して、障がい者虐待防止の趣旨、虐待防止に係るスキーム、障害者福祉施設における虐待防止のための組織・運営体制づくり、利用者の意向に沿った支援のスキル等について研修し、障がい者の虐待防止、早期発見に向けた取り組みの推進を目的として、今年8月に開催された厚生労働省指導者養成研修の伝達研修であります。

当日は、講師として元毎日新聞社論説委員であり、私達同様に育成会会員でもある野澤和弘氏を招待し、国の制度や全国で実際に起きている虐待事例、さらには重度障害のある子供の親である立場からの事例、そして障害のある人との関わり方についての温かいご講演をいただきました。

昨今では全国的な問題ではなく、私たち沖縄でも労働条件の悪影響が指摘され、障がい事業所の職員不足による多くの問題点も増えています。そのような状況下の中において、支援する職員の過酷な業務が増加し、職員の離職や虐待事例が増加している現状も、耳に入ってきます。

障がいのある子供や兄弟が安心して社会生活が過ごせる大きな存在場所として欠かせない日中活動場所としての事業所やグループホームなのですが、そこで支援をしていたく職員に安心して働いていただくには、生活保全も大切な課題となっております。

手をつなぐ・うちな〜
知的な障がいのある人と共に
♪ 県育成会のHPにもカラーで掲載中 ♪

発行所
沖縄県手をつなぐ育成会
那覇市首里石嶺町4-373-1
沖縄県総合福祉センター内
TEL 098 - 882 -5727
FAX 098 - 882 -5720
E-mail:oki-iku@woody.ocn.ne.jp
HP : http://www.oki-iku.com/
発行人 理事長 田中 寛
定価 50円(会費を含む)

【目次】

P1	虐待防止研修会②・ゴルフ贈呈式
P2	全国熊本大会の報告
P3	私の声を届けます
P4	県育成会予定・ゆんたく広場・理事通信他

令和元年度チャリティゴルフ大会 報告会・寄付金贈呈式



10月1日(火)に行われた令和元年度沖縄県手をつなぐ育成会チャリティゴルフ大会の報告会が、11月13日(水)県総合福祉センターにて行われました。

なお、当チャリティ収益金の約59万円は、チャリティゴルフ大会実行委員会から県育成会にご寄付いただき、さしていただくことにて報告させていただきます。

皆様の温かいご支援を有意義に活用させていただきます。本当にありがとうございました。





第6回全国育成会連合会全国熊本大会 (第59回九州大会併催)



「第11月23日(土)〜24日(日)に
合会第6回全国手をつなぐ育成会連
九州地区熊本大会」(併催・第59
大会、九州地区事業所協議会九州



式典の様子

大会)が熊本市で開催されました。沖縄県から参加した30名の父母及び施設職員を含み、全国から参集した約2300名の参加者の下で、二日間に亘って大変有意義な研修が開催されました。

3年前の地震により大きな被害をこうむった熊本県でしたが、熊本城の修復も進んでいる中で、今大会は熊本県育成会のご尽力にて、オープン前の熊本城ホールにて大会が開催されました。

「一人ひとりを認め合う社会の実現」を熊本県の心を全国に響かせる大会スローガンに加えて、「助け合って、励まし合って、つながりばい」の本人大会のスローガンの下、570名の本人による大会も活発な意見交換等で大いに盛り上がりを見せていました。

今大会は、「育つ・学ぶ」「働く」「暮らす」「権利擁護」「地域育成会の活性化」など5つの家族・支援分科会と、「はたらく」「くらし」「トークデイスカッション」「表現活動」の4つの本人大会分科会で研究討議が行われました。また放送作家・脚本家で熊本県イメージキャラクター生みの親であり「料理の鉄人」や「おくりびと」を手掛けた熊本県出身の小山薫堂氏の記念講演が行われ、人とのふれあいについてお話がされました。

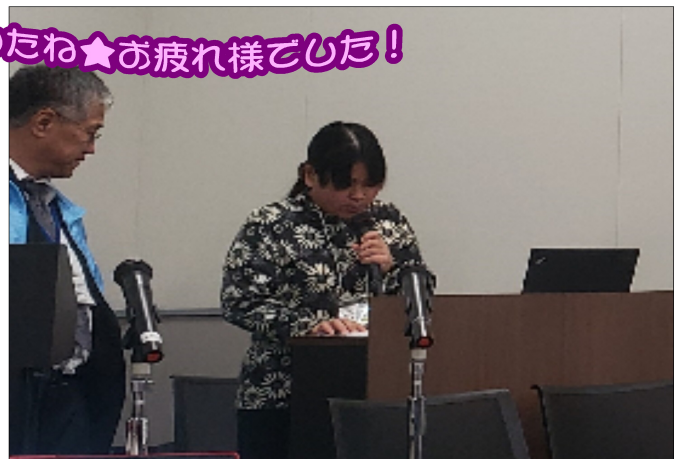
大会終了時には、大会決議文・本人大会決議が発表され、会場には大きな賛同の拍手が響いていました。

同大会において永年の福祉活動にご尽力をされてきた「赤嶺恵子さん」「外間公江さん」「外間美代子さん」が表彰されました。御三方の日頃の活動に心より感謝し、今後のご健康ご活躍を祈念いたします。

本人分科会で大活躍でしたね★お疲れ様でした!



本人分科会発表者：真栄喜康弘さん



本人分科会司会：新垣佳子さん

県育成会行事報告11月

- ☆11月13日(水) 県総合福祉センター 3役会議
- ☆11月15日(金) 県総合福祉センター 保険説明会
- ☆11月23日(土) 24日(日) 熊本県 全国育成会全国熊本大会&九州大会
- ☆11月27日(水) 県総合福祉センター 虐待防止研修②
- ☆11月29日(金) 県総合福祉センター 第2回組織・財政委員会

県育成会行事予定12月・1月

- ★県内
- ☆12月2日(月) 沖縄市 事業所交流会
- ☆12月6日(金) 県庁 心の輪表彰式
- ☆12月18日(水) 県総合福祉センター 第3回理事会
- ☆12月19日(木) 県総合福祉センター 虐待防止研修③
- ☆12月後半 県庁 ゆうあいスポーツ大会実行委員会①

第53回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会
 ☆日程：令和2年2月8日(土)
 ☆場所：沖縄県総合福祉センター ゆいホール
 参加のご案内については各団体宛てに今後送付予定です。

『手をつなぐ・うちな〜』編集者
 理事長：田中寛
 事務局：高原奈々・東江早苗

田中理事長のゆんたく広場

12月となり、沖縄もやつと半袖姿が少なくなっており、改めて縦長日本列島の広さを痛感している今日この頃です。
 10月31日未明より11時間に亘った大規模火災により、沖縄の歴史的な財産、そしてシンボルである世界遺産首里城跡に還元された「正殿」など主要な建物が全焼しました。
 この火災に対して、沖縄県民のみならず全国各地から悲しみの声と共に、「早期の再建に向けた復旧・復興に取り組んでほしい」と法人、個人を問わずに多額の支援金が集められており、改めて、首里城の存在価値の大きさを思い知らされました。
 未だに原因は定かではありませんが、国宝や重要文化財なども含めた貴重な建造物への防火対策への不安はぬぐえず、今後の見直しは必然のような気がします。

『手をつなぐ』配布募集

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。
 お申込みご希望の方は、県育成会まで一度ご連絡下さい。
 *年間購読料 3,900円



元年度寄付
 敬称略
 寄付 平田 実

賛助会員
 加入のお願い

☆賛助会員の趣旨☆
 沖縄県手をつなぐ育成会は、知的に障がいのある子を持つ親等を中心に結成され、「知的障がい者(児)の心豊かな暮らし」、「社会が障がいのある無に係わらず相互に人格と個性を尊重し合う共生社会」の現実を目標に活動しています。
 当会の趣旨にご賛同いただき、活動の資金的なご支援をお願い申し上げます。
 詳細は県育成会までページからもダウンロード可能です★



理事通信

2019 RWC

理事 喜納 平



2019年、年の瀬も迫り、流行語大賞の時事になってきました。
 「ジャッカル」「にわかファン」「4年に一度じゃない男」「ONE TEAM(ワンチーム)」、ラグビーワールドカップの成功と「ブレイブプロッサム(勇敢な桜の戦士)」といわれる日本代表のベスト8への躍進によりノミネートされた言葉が躍ります。
 私は、ラグビープレーヤーとして高校・大学・社会人と携わり、日本ラグビー協会A級コーチライセンスも有しています。
 ラグビーをプレーしたことで得た知見は、今の私自身が私自身であることに大きく影響をされていると日々感じているところです。
 ラグビーには、大切に守られてきたラグビーの価値を一層強いものにしていくため、「ラグビー憲章」があり、次の5つの言葉(価値)にまとめられています。
 品位[Integrity] 情熱[Passion] 結束[Solidarity] 規律[Discipline] 尊重[Respect]。
 この5つの言葉(価値)はコアバリュー(中核的価値観)として、ラグビーをプレーすることについてのみではなく、企業経営や組織運営についても、有効な価値だと思えます。
 福祉サービスや利用者支援、法人運営においても参考になる場面は多くあると思えます。
 この冬、是非、皆さんも流行に流されて、ラグビー観戦してみませんか？沖縄でも小学生から社会人まで、ラグビーの試合や大会は開催されていますよ♪